

2015年(平成27年)12月11日[金曜日]

- [文字サイズ 小](#)
- [文字サイズ 中](#)
- [文字サイズ 大](#)



NHK岐阜県のニュース 岐阜放送局

※NHKサイトを離れます

## プラズマの揺らぎを解明

土岐市にある核融合科学研究所と九州大学はプラズマのなかに突然、発生する揺らぎのメカニズムを解明したと発表しました。この現象は地球上の電波障害を起こすといわれている太陽フレアが起こるメカニズムを解明する鍵になるものと期待されています。揺らぎのメカニズムを解明したのは土岐市にある核融合科学研究所の井戸毅

准教授らと九州大学の伊藤早苗教授らのグループです。

プラズマは気体に高い電圧をかけてできる放電した物質の状態ですが、井戸准教授らは核融合科学研究所が開発したプラズマの密度を測る計測器で高温プラズマのなかに突然、大きな「揺らぎ」が発生していることを発見しました。

揺らぎは通常、一定の幅に収まっているもののある値をこえると突発的な大きな揺らぎになることが分かりシミュレーションによってその発生を予測することも出来たということです。

こうした突発的な揺らぎは太陽フレアなど宇宙におけるプラズマにも見られます。

井戸毅准教授は「地球上の電波障害や通信障害をもたらすといわれている太陽フレアのメカニズムの解明にも役立つのではないかと話しています。

この研究成果はアメリカ物理学会が発行する科学雑誌に掲載されることになっています。

12月11日 19時04分

Copyright NHK(Japan Broadcasting Corporation) All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。

このページは受信料で制作しています。